

田辺工業高校

武道館新しく

授業や部活動で活用

田辺市あけぼのの田辺工業高校の武道館が新しくなった。「工武館」と名付けられ、体育の授業や部活動、学年集会などで利用される。

正門近くの右手にあった格技場は老朽化し、ウエートリフティング場は屋根のみで吹きさらしになっていたため、それらに代わって新たに建てられた。

鉄骨2階建て。1階は柔道畳を敷いた広間、2階はフロアリングの広間になっている。裏手にはトレーニングルームがある。延べ床面積は6

40平方メートル。外観は同校のスクールカラーであるえんじ色で塗装している。

施設の名前「工武館」は校内でアンケートを取って決めた。施設の正面に掲げた看板は機械科の教員が作成した。

放課後の部活動で2階を使用している剣道部からは「床が新しくなって踏み込みやす

くなった」、トレーニングルームを使用しているウエートリフティング部からは「吹きさらしではなくなったので音が周りに響かなくなった」と好評という。

三角雅彦校長(57)は「新しい建物でさらに武道に親んでもらえたら」と話している。



今春完成し、体育の授業や部活動などで利用される「工武館」
(田辺市あけぼので)

